

## 収益・進捗補正の計算例

### 【前提条件】

- ・ 4事業年度目を実施する第1回定期レビューを想定している
- ・ 第1期4年間の利用料金按分率は、給水収益予算額に合わせて毎年度補正済みである  
(需要に基づく予算の影響により運営権者が収受する利用料金の変動しないよう按分率を補正)
- ・ 物価等の上昇による事業費の変動は想定していない
- ・ 第1期(1~4年目)の契約上の按分率は4%、第2期(5~8年目)の契約上の按分率は8%と仮定する
- ・ 配水管の減価償却費は本市の場合、耐用年数38年で計算するが、本資料においては分かりやすさから40年を用いて計算を行う(例  $200 \div 40 = 5$  (残存簿価を考慮しない))
- ・ 第1期の利用料金の予算額と実績額との差を定期レビューにて次期の利用料金按分率に反映する  
(収益補正係数: K)
- ・ 第1期の事業の遅延(20km)を第2期の計画事業量に上乘せして取り返す場合を想定しており、生じた第1期の進捗実績と計画との乖離及びそれを踏まえて見直した第2期の計画事業量を定期レビューにて次期の利用料金按分率に反映する(進捗補正係数: L)
- ・ 本計算例に用いている収益や費用は、仮の数値であり、本事業と関連するものではありませんのでご注意ください

### 【収益補正係数: Kの計算式】

第1期(1~4年目)に生じた利用料金の予算額と実績額との乖離相当を第2期(5~8年目)の利用料金で調整する。

$$\cdot (\text{第1期の利用料金予算総額}) - (\text{第1期の利用料金実績総額}) = (\text{利用料金乖離額})$$
$$96 - 94.87 = 1.13 \quad \cdot \cdot \cdot \text{運営権者が収受不足の金額であり、第2期で市から回収すべき額}$$

市は当該乖離額を第2期の利用料金で運営権者が収受できるよう、第2期の按分率を補正する

$$\cdot (\text{第2期の利用料金見込総額}) + (\text{回収額}) = (\text{補正後の第2期の利用料金見込総額})$$
$$188.8 + 1.13 = 189.93$$
$$\cdot (\text{補正後の第2期の利用料金見込総額}) \div (\text{第2期の計画給水収益見込総額}) = (\text{補正後按分率})$$
$$189.93 \div 2,360 = 8.05\% \quad \cdot \cdot \cdot \text{第2期の按分率として適用、契約上の按分率から0.05\%引き上げることで、1~4年目の給水収益の乖離を補正}$$

収益補正係数(K)を算出

$$\cdot (\text{補正後按分率}) \div (\text{契約按分率}) = (\text{収益補正係数: K})$$
$$8.05\% \div 8\% = \underline{1.00625}$$

【進捗補正係数：Lの計算式】

第1期(1～4年目)の事業量が計画ほど伸びなかった(20km遅延)ことにより、市は、実績より多い減価償却費(第1期計画減価償却費)を支払っている状態

$$\cdot (\text{第1期の計画減価償却費総額}) - (\text{第1期の実績減価償却費総額}) = (\text{減価償却費乖離額})$$
$$30 - 26 = 4 \quad \dots \text{市の過払いの減価償却費であり、第2期で運営権者から回収すべき額}$$

運営権者は第1期の計画未達分を第2期に取り返す見直し計画を作成するが、第1期の計画未達の影響により、減価償却費は当初計画よりも少なくなる

$$\cdot (\text{第2期の計画減価償却費}) - (\text{第2期の見直し減価償却費}) = (\text{減価償却費見直し額})$$
$$110 - 106.5 = 3.5 \quad \dots \text{計画見直しによる減価償却費の縮減額}$$

$$4 + 3.5 = 7.5 \quad \dots \text{第2期の計画利用料金見込総額から減じる額}$$

第2期に運営権者が収受する利用料金の額を算出(補正後の第2期の利用料金見込総額)

$$188.8 - 7.5 = 181.3$$

$$\cdot (\text{補正後の第2期の利用料金見込総額}) \div (\text{第2期の計画給水収益見込総額}) = (\text{補正後按分率})$$

$$181.3 \div 2,360 = \underline{7.68\%} \quad \dots \text{第2期の按分率として適用、当初計画の第2期按分率から0.32\%引き下げることで、第1期の進捗乖離と第2期の計画見直しを補正}$$

進捗補正係数(L)を算出

$$\cdot (\text{補正後按分率}) \div (\text{契約按分率}) = (\text{進捗補正係数})$$

$$7.68\% \div 8\% = \underline{0.96}$$

【2期目の利用料金按分率の補正式(実施方針P35)】

$$\cdot (\text{第2期契約按分率}) \times (K) \times (L) = (\text{補正後の第2期算定期間の利用料金按分率})$$

$$8\% \times 1.00625 (K) \times 0.96 (L) = \underline{7.73\%}$$

(記載がない場合、単位は億円)

事業年度	第1期				
	1	2	3	4	計
計画給水収益見込	600	600	600	600	2,400
契約按分率	4%	4%	4%	4%	-
計画利用料金見込	24	24	24	24	96
給水収益予算額	600	590	600	610	2,400
毎年補正後按分率	4%	4.07%	4%	3.94%	-
利用料金予算額	24	24	24	24	96
給水収益実績	600	595	590	585	2,370
利用料金実績	24	24.22	23.6	23.05	94.87
計画事業量	100km	100km	100km	100km	400km
計画事業費(2億/km)	200	200	200	200	800
計画減価償却費	0	5	10	15	30
計画一部負担金	125	130	135	140	530
実績事業量	80km	90km	100km	110km	380km
実績事業費(2億/km)	160	180	200	220	760
実績減価償却費	0	4	8.5	13.5	26
実績一部負担金	100	117	135	154	506

事業年度	第2期				
	5	6	7	8	計
計画給水収益見込	590	590	590	590	2,360
契約按分率	8%	8%	8%	8%	—
計画利用料金見込	47.2	47.2	47.2	47.2	188.8
計画事業量	100km	100km	100km	100km	400km
計画事業費(2億/km)	200	200	200	200	800
計画減価償却費	20	25	30	35	110
計画一部負担金	145	150	155	160	610
見直し事業量	100km	100km	110km	110km	420km
見直し事業費(2億/km)	200	200	220	220	840
見直し減価償却費	19	24	29	34.5	106.5
見直し一部負担金	145	150	170.5	176	641.5

○参考

## 【計画減価償却費】

(億円)

		減価償却費							
		第1期				第2期			
事業費		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
1年	200		5	5	5	5	5	5	5
2年	200			5	5	5	5	5	5
3年	200				5	5	5	5	5
4年	200					5	5	5	5
5年	200						5	5	5
6年	200							5	5
7年	200								5
8年	200								
合計	1,600	0	5	10	15	20	25	30	35

8年間の減価償却費総額・・・140億円

## 【実績・見直し減価償却費】

(億円)

		減価償却費							
		第1期				第2期			
事業費		1	2	3	4	5	6	7	8
1	160		4	4	4	4	4	4	4
2	180			4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
3	200				5	5	5	5	5
4	220					5.5	5.5	5.5	5.5
5	200						5	5	5
6	200							5	5
7	220								5.5
8	220								
合計	1600	0	4	8.5	13.5	19	24	29	34.5

8年間の減価償却費総額・・・132.5億円